

## 資料2. 神経変性班 WS (220708)

### 午前

1. 9:50 : 開会あいさつ (保健医療科学院 武村真治先生、神経変性班 中島健二)
2. 10:00-10:50 : 小児科領域よりの新たな班員の参加 : (座長 : 長谷川一子先生)  
オートファジーの関与する疾患(1) : 自治医大 村松一洋 准教授  
オートファジーの関与する疾患(2) : 名古屋市大 齋藤伸治 教授
3. 10:55-12:00 神経変性疾患における研究の現状と今後の展開に向けて(1) (座長 : 辻省次先生、桑原聡先生)  
ALS の病態解明と治療への展開 : 愛知医大 祖父江元 理事長  
PD 研究の現状と今後の展開 : 京都大 高橋良輔 教授

12:00 患者会等 (全国パーキンソン病友の会、PSP・CBD のぞみの会、SMA (脊髄性筋萎縮症) 家族の会、日本ALS協会) からのご挨拶

### 昼休憩

### 午後

4. 13:00-14:25 神経変性疾患における研究の現状と今後の展開に向けて(2) (座長 : 森田光哉先生、服部信孝先生)  
(ア) 神経変性疾患におけるリハビリテーションの展開—薬物治療と HAL の併用療法 : NHO 新潟病院中島孝院長  
(イ) 脳神経内科よりの新たな班員の参加 : 名古屋大 勝野雅央 教授  
i) SBMA における女性キャリアと核酸医薬治療研究  
ii) 成人期 SMA レジストリ研究におけるベースラインデータ解析による成人期患者の現状と課題
5. 14:30-16:30 早期の診断、説明、療養支援における課題 (座長 : 青木正志先生、矢部一郎先生)  
(ア) 脳神経内科受診後、診断まで : 新潟大 小野寺理 教授  
(イ) 診断後の課題—患者・家族への説明 : 徳島大 和泉唯信 教授  
(ウ) 療養における地域支援体制の課題—「難病患者の総合的地域支援体制に関する研究」活動から : NHO 箱根病院 小森哲夫 名誉院長  
(エ) 総合討論
6. 16:30 終了予定